

取組の目的・背景

石川啄木が釧路駅に降り立った1908（明治41）年1月21日の夜を記念して橋南地区で開催する地域振興とみんなで過ごせる真冬の楽しい時間の提供を目的とした一夜限りのイベントです。地域の市民団体や近隣の商店、住民の皆さんの協力のもと、啄木雪あかりの町くしろの会が運営しています。

取組の内容

・アイスキャンドルなどによる街の飾りつけ ・市内小学校による紙袋ランタン作成展示 ・工業高校とのコラボでの照明装飾 ・啄木に関する講演会 ・啄木一人百首（歌留多大会） ・スタンプラリー ・くしろの古地図などの展示 ・啄木故郷の味「せんべい汁」 ・啄木ら〜めん（釧路ラーメン） ・その他飲食店参加多数

取組の成果

釧路での作品は質がとても高かったと高い評価を受けている石川啄木ですが、市民に親しまれる機会は減ってきており若い世代の認識は高いとは言えません。釧路ゆかりの世界的な歌人の足跡をたどる数少ない機会であるため、子供達にも石川啄木の残した文化を感じ取ってもらえる貴重な機会として大きな意義があります。また、自分達のまち「郷土」に対する愛着をもつためのしかけとして「紙袋ランタン」を小学生に作成してもらった取り組みは、多くの小学校に浸透し、釧路発祥の地へ足を運び自分達の手で町がキレイに彩られている様を見て「まちづくりに参加している」実感を持つ場所となっている事は愛嬌精神をはぐくむ事への貢献となっています。

取組の課題と期待

全てを寄付でまかなっている事業のため、地元の景気に左右されます。また、担い手の高齢化が深刻であり、近年は開催日に強風が吹く事が多く予定していたライティング（特に紙袋ランタンの展示）に支障がでております。

建築士としての関わり

工業高校の生徒とのコラボレーションを行い、地域と学校を結びつける役割を担っています。また、会場のレイアウトなどを職能を活かして担当しているほか、建築士会としてもインテリアやライティングに趣向をこらしたブース（カフェなど）を設置し、イベントを盛り上げています。



URL

<https://www.facebook.com/yukiakarinomachi946>

QRコード

